

業者名()

番号	評価対象 内容	項目	提案を求める内 容	判断基準	項目 評価点	項目 加重点	項目 技術点	技術点 合計
1	業務遂行能力	体制	・プロジェクト体制 ・担当者の人数および経験	①構築体制、運用体制について記載すること。 ②品質保証および監査体制について、記載すること。 ③責任者及び担当者の本業務に関わる業務経験を記載すること。 ④運用要員が交代する場合の研修、引き継ぎの方法について記載すること。	10	10	100	300
2		類似業務実績	・過去5年間の受注名称及び概要	①他府県等における奨学金等金銭貸与型制度のシステム構築のそれぞれの実績について、記載すること。 ②契約書の写しまたは業務履行時の体制表の写しを添付すること。	10	10	100	
3		スケジュール	・スケジュール ・進捗状況管理	①活用するパッケージソフトウェアを記載すること。 ②システム稼働までのスケジュールについて、記載すること。 ③進捗状況の管理手法について記載すること。	10	10	100	
4	仕様書の理解度	仕様書の理解度	・調達内容、再構築の目的	現行のシステムと奨学金関係業務の内容を踏まえた上で、現行のシステムの特徴と問題点、本システム再構築に関する全体の枠組み、基本的な考え方、アピールポイント等について記述すること。	10	10	100	100

業者名()

番号	評価対象 内容	項目	提案を求める内 容	判断基準	項目 評価点	項目 加重点	項目 技術点	技術点 合計
5	機能要件	システム共通用件	・メニュー配置、レイアウト、入力方式 ・システム、データの拡張性	①入力中・入力済みのデータが不意の操作によって簡単に削除されることを防ぐ仕組みを提案すること。 ②個人情報保護の観点から不要な帳票の印刷を未然に防ぐ仕組みを提案すること。	10	20	200	500
6		マスタメンテナンス機能	・マスタ登録と変更	登録・変更が可能なマスタ項目について記載し、マスタの登録・変更の方法について記載すること。	10	5	50	
7		社会保障・税番号制度に関する機能	・団体内統合宛名システムとの連携	団体内統合宛名システムとの連携のためのテスト及び県情報システム課との協議及びテストの時期と方法について記載すること。	10	5	50	
8		ログイン機能	・業務用ID・パスワード設定 ・マイナンバー用ID・パスワード設定	①業務用ID・パスワード、マイナンバー用ID・パスワードによる機能制限項目について記載すること。 ②各職員ごとの作業内容に応じて、セキュリティを確保し、かつ業務を速やかに遂行できるユーザグループ設定を提案すること。	10	5	50	
9		仮登録・審査・貸与判定機能	・自動入力項目	仕様書指定の項目以外で、自動入力が可能となる項目について提案すること	10	5	50	
10		借受人管理機能	・検索方法の柔軟性	部分一致検索の可否と並べ替えの条件指定方法、制限について記載すること。	10	10	100	

業者名()

番号	評価対象 内容	項目	提案を求める内 容	判断基準	項目 評価点	項目 加重点	項目 技術点	技術点 合計
11	機能要件	貸与情報管理機能	・県新世紀統合財務システムとの連携	県新世紀統合財務システムへの借受人情報（貸与・返還関係等含む）の登録の方法について手順等を具体的に記載すること。	10	5	50	650
12		返還情報等登録機能	・未納者管理	任意の期間における未納者を抽出し、「貸与番号」「氏名」「連絡先（電話番号・住所）」「貸与額」「未収金額」「最終入金日」「免除に関する情報」を一覧表として印刷するのに、システム起動完了後から何工程で可能か提案すること。	10	10	100	
13			・調定処理	①定例調定処理を、システム起動完了後から何工程で完了できるかを提案すること。なお、定例調定処理については別添7を参照すること。 ②返還手段が変更になった借受人が、次回の定例調定処理で漏れ落ちることがない仕組みについて提案すること。	15	20	300	
14		統計機能	・統計関係書類の充実度	・任意の年度分の「未収金把握資料」を、システム起動完了後から何工程で作成し印刷できるか提案すること。未収金把握資料については別添8を参照すること。	10	10	100	
15		バックアップ機能	・バックアップデータ	①バックアップデータから復元する際の、全体復元、部分復元の可否について記載すること。 ②バックアップデータからの復元について、任意の時点の状態に全体復元したい場合、システム起動完了から何工程で完了するか記載すること。	10	10	100	

番号	評価対象 内容	項目	提案を求める内 容	判断基準	項目 評価点	項目 加重点	項目 技術点	技術点 合計
16	非機能要件	信頼性	・システムのレジリエンス	特別なスキルを持たない者でも、障害の発生を未然に防止、または速やかに発見できる方法について提案すること。	10	5	50	250
17		セキュリティ要件	・不正利用の防止	操作ログの保存可能年数と保存内容を記載すること。	10	10	100	
18		保守要件	・SLA	高度な個人情報を扱うシステムとして、信用に足るだけのSLAを提案すること。	10	10	100	
19	その他の要件	次期システムへの移行	次期システムへの移行の考え方	契約満了後、次期システムへの移行の際に発生する作業支援について、考え方を記載すること。 ①自社による再構築の場合 ②他社システムへの移行の場合	10	10	100	200
20		機能の充実	必須でない項目への対応	チェック表において、必須となっていない項目への対応を見る	10	10	100	
				計				2000